

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗状況

項目① 基本戦略の実施状況

経営展望における基本戦略	進捗状況		H25年度の実績	今後の取組	実施主体	備考
	24年度	25年度				
1. 市場外部との連携と情報発信の強化						
①提携ショップの推進	○	○	市場名称の使用申請が新たに5件増え、トータル16件となった。	引き続き市場の販売力を高めるため、提携ショップの展開等を実施する。	共同実施	
②冠イベントの推進	○	○	イベント開催回数：阪急オアシス等23回	引き続き消費者へのアピールや消費拡大を目的に、ゆるキャラ「せりちゃん」を活用しながら販売促進イベントを実施する。	共同実施	量販店 阪急オアシス (毎月5日に市場まつりを開催) ダイエー (毎月第3土曜日に市場まつりを開催)
③卸・仲卸連携による産地との交流	○	◎	産地との連携事業：鳥取県等 22回(H24)⇒27回 パナソニックセンターでの新規イベントを実施するなど昨年より充実した。	引き続き市場の集荷力を高めるため、新たに産地との交流イベントを企画・実施する。	共同実施	産地 鳥取県、山形県、福岡県、福島県、兵庫県、長野県、熊本県、岐阜県、北海道、大分県、徳島県、佐賀県、和歌山県、広島県、鹿児島県
④卸・仲卸連携による量販店対応の推進	○	○	量販店へのトップセールス：4社	引き続き量販店の要望に対応できるよう、卸・仲卸が連携して実施する。	管理センター	
⑤大学や食育関係団体等と連携した取組の推進	○	◎	大学との連携を20件に増やし、産地が求める企画にも取り組んだ。	引き続き消費拡大や人材育成を図るため、新たな連携先の開拓などに取り組む。	共同実施	大学 梅花女子大学、追手門学院、 大阪大学医学系研究科、大阪成蹊学園
⑥場内のプロ集団による情報発信の推進	○	◎	一日お魚料理教室の開催 視察・見学者 1,981人(H24)⇒2,311人 35周年記念の市場まつりに参画した。	引き続き場内のプロ集団の知識・経験を生かした情報発信を実施する。	管理センター	
⑦サイン塔の整備	-	◎	正門、西門、及び北門の3カ所にLEDによる自立サインを設置した。	今後予算の範囲内で東門の設置について検討する。	管理センター	
⑧市場ゆるキャラの制作・運営	-	◎	市場ゆるキャラ「せりちゃん」を制作し、各種イベントに出場させ、府市場のPR大使として市場の知名度を高めた。	引き続き市場関連のイベントに積極的に出動させる。	管理センター	
2. 市場内への外部活力の導入						
①ネット販売や提携ショップを通じた新たな消費者ニーズの取り込み	○	○	H24年11月にネットショップをオープン。 H25掲載件数 青果186件、水産144件	商品の掲載に加えて、ネットを通じてイベントや市場の取り組みを紹介することで販売の促進につなげる。	管理センター	ネットショップ 運営は有限会社キャンビー。
②新規卸業者の誘致の検討	△	△	青果・水産ともに新規参入はなかった。	新規業者の円滑な参入を進める。	管理センター	廃業 青果…4業者 水産…4業者
③近郊売場の内容充実と売買参加者への新規参入の促進	△	△	5業者が新規参入したが、廃業等によりトータル7業者減となった。	各種イベント時に大阪産(もん)のPRを行い、近郊売場への集荷に寄与する。	管理センター	廃業 7業者 未更新 5業者
④市場の魅力を高める関連事業者の誘致	△	◎	新たに診療所、薬局、運送会社を誘致した。	引き続き空き施設の誘致に向けてPR活動を行う。	管理センター	市場施設新規使用許可件数 10件 廃業等による施設返還件数 6件

◎：実施し、顕著な成果を上げているもの

○：実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの

△：実施しているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの

×：未実施

経営展望における基本戦略	進捗状況		H25年度の実績	今後の取組	実施主体	備考
	24年度	25年度				
3. 定温流通・加工機能の充実						
①場内冷蔵庫の改修と営業戦略の構築	△	△	4者会議(流通対策室、府市場、食品流通センター、北部冷蔵)を開催し検討し、経営改善策を策定した。	冷蔵庫棟を階ごとに設定を変えられるように改修することを検討する。	共同実施	
②場内業者による自主的な施設整備	○	○	場内業者による近郷売場の低温保管施設の整備及び冷蔵庫の設置等、自主的な設置を行った。冷蔵庫等の設置 15件	場内ニーズを把握しながら定温流通施設や加工施設の整備を促進する。	管理センター	
4. 清潔で美しい市場づくり						
①トイレなど維持改修のスピードアップ	○	◎	平成25年度は、青果仲卸棟1階トイレ(4カ所)、水産棟中2階トイレ(6カ所)の改修を行った。	平成26年度は、青果仲卸棟2階トイレ(4カ所)、水産棟2階トイレ(6カ所)の改修を行う。	共同実施	H25 管理センター 府 トイレ改修 6カ所 100万円以上の修繕工事 4カ所 32カ所 21カ所
②場内啓発と清掃の徹底	○	○	場内一斉大掃除を年4回実施した。	引き続き場内一斉大掃除を実施する。清潔な市場づくりの場内啓発を行う。	共同実施	
③場内業者における品質管理対策の強化と食品衛生検査所の検査	○	○	品質管理対策の強化として、品質管理高度化規範を4卸会社全て策定した。また、仲卸業者へも高度化規範例を配布するなど策定を促している。食品衛生検査所において以下の検査を実施した。細菌検査：1,236検体、2,448項目 理化学検査：1,771検体、8,165項目	品質管理高度化規範に基づき、品質管理が行われるよう促進する。引き続き安全で安心できる食品の提供ができるよう検査を実施する。	府実施	
④廃棄物減量化の推進	○	○	生ごみ(青果くず、魚あら)及び発泡スチロールを外部の施設でリサイクル処理した。 ・ごみ焼却量 5,953t(H24 6,341t) ・生ごみリサイクル量 2,456t(H24 2,852t) ・発砲スチロール量 194t(H24 215t)	引き続き生ごみ及び発泡スチロールを外部でリサイクル処理する。	管理センター	
⑤カラス等有害生物対策の強化	○	○	カラスの捕獲を年7回実施した(捕獲数144羽)。タカによる撃退・威嚇を実施した。	引き続きカラスの捕獲を実施する。テグスの設置等効果的な手法を実施する。	管理センター	
⑥分煙の徹底	△	○	分煙の啓発を実施。たばこに関する職場アンケートを実施した。禁煙ステッカー・ポスターの制作・貼付による啓発、禁煙講習会の開催した。	喫煙所以外での禁煙を徹底する。	共同実施	
5. 安全で環境にやさしい市場づくり						
①省エネの推進と新エネ利用の検討	○	○	管理棟第三電気室の改修及び管理棟の個別空調により省エネを図った。	平成26年度は水産棟第2電気室、昇降機(4基)の改修を実施する。	共同実施	
②自動車環境規則の徹底と低公害車の導入促進	△	△	府の流入車規制の立入検査に協力した。また、流入車規制に関する啓発を実施した。	引き続き府の流入車規制への協力、啓発を行う。低公害車の導入促進に向けてPRする。	共同実施	
③市場内外の交通ルールの徹底	△	○	駐車ルール遵守の啓発を実施した。	引き続き交通ルール遵守の啓発を行う。外周道路にポストコーンを設置する。	管理センター	
④市場周辺の違法駐車等への対応	△	△	関係行政機関(府茨木土木事務所、茨木市等)に違法駐車等の改善の要請を実施した。	違法駐車・迷惑駐車等の改善を図るため、関係行政機関等に要請を行う。	共同実施	

◎：実施し、顕著な成果を上げているもの

○：実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの

△：実施しているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの

×：未実施

経営展望における基本戦略	進捗状況		H25年度の実績	今後の取組	実施主体	備考
	24年度	25年度				

6. 災害等に強い市場づくり

①耐震補強の実施	○	○	水産棟、管理棟の実施設計を行った。	H26 水産棟・管理棟の耐震工事を行う。 (終了年度H27)	府実施	
②BCP(業務継続計画)の策定	△	△	近隣中央市場の策定状況や策定手法などの情報収集を行った。	これまでの情報を活用し、連絡会議を立ち上げ、今年度中の策定を目指す。	府実施	
③非常用発電設備の強化	○	○	非常用発電機設備改修工事の実施設計を実施した。	非常用発電機設備改修工事を行う。	府実施	

7. 市場機能の再構築

①-1仲卸業者の規模拡大	△	△	廃業を予定する業者へは、失う恐れがある顧客や従業員を既存の業者に引継ぐよう指導をおこなった。	仲卸業者の合併・譲渡による経営体質の強化を図った。	府実施	
-2空店舗の活用		○	廃業による返還が11件あったが、空き店舗の活用許可が17件あり、トータル6件の増加となった。	引き続き空店舗の活用を働きかける。	管理センター	仲卸業者の廃業等による店舗返還件数 11件 仲卸店舗の新規許可件数 17件
②荷捌き場、駐車場の再編整備	△	○	青果立体駐車場A棟塗膜防水修繕工事を実施した。不法駐車を整理した。	水産立体駐車場A棟塗膜防水修繕工事を行う。場内ニーズに合わせて駐車場の確保を図る。	共同実施	
③場内における駐車場利用の見直しと地上部分の有効活用	△	○	不法駐車を立体駐車場・既存駐車場への誘導を図った。	外周道路等にポールコーンを設置し不法駐車を排除する。	管理センター	
④加工食品卸売場と一体となった活性化	△	△	株式会社大阪府食品流通センターの民営化を行うため、府保有株の公募を実施した。	平成26年度に民営化に向けて、再度、企画提案方式による公募売却を検討する。	共同実施	

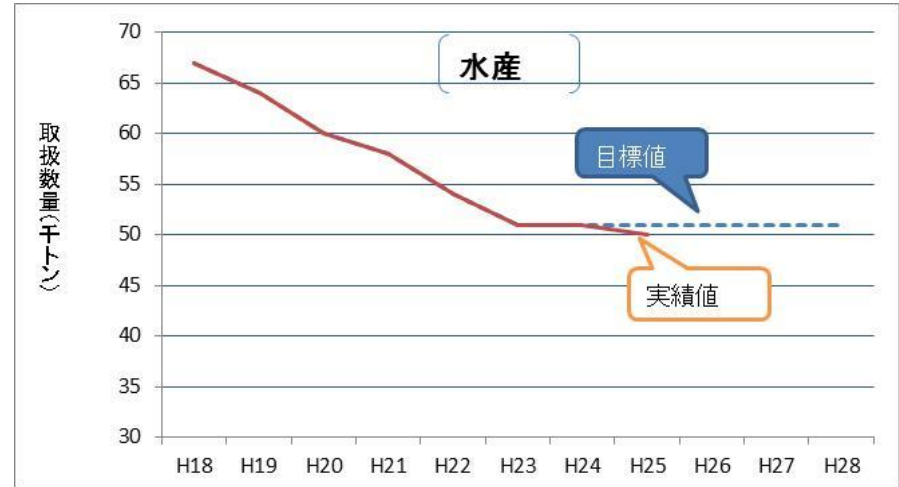
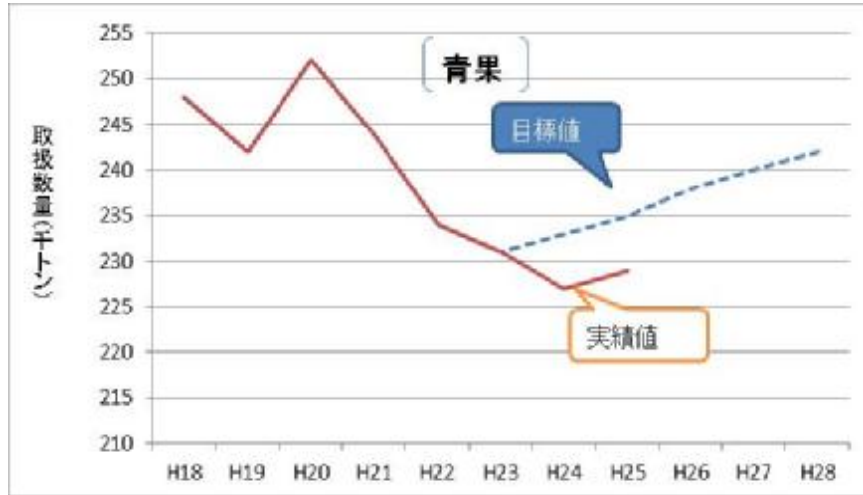
(参考)

	H25年度の実績	H26の取組	実施主体	備考
卸売業者及び仲卸業者に対する検査・経営指導等の実施				
(1) 卸売業者に対する検査・経営指導等	①水産物部 卸売業者 2社	①青果部 卸売業者 2社	府実施	
(2) 仲卸業者に対する検査・経営指導等	①通常検査 青果7社 水産7社 計14社 ②経営面談 青果12者 水産10社 計22社	①通常検査 青果7社 水産7社 計14社 ②経営面談 財務基準該当業者	府実施	
(3) 直接集荷に係る立入検査	①青果31社 水産27社 計58社	①青果29社 水産28社 計57社	府実施	

- ◎ : 実施し、顕著な成果を上げているもの
 ○ : 実施し、一定の成果を上げているもの及び継続して取り組むもの
 △ : 実施しているが、十分な成果を上げるまでには至っていないもの及び検討中のもの
 × : 未実施

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗状況

項目② 取扱数量に関する目標の達成状況



【取扱数量の目標】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
青果	233,000	235,300	237,600	239,900	242,200
水産物	51,000	51,000	51,000	51,000	51,000
合計	284,000	286,300	288,600	290,900	293,200

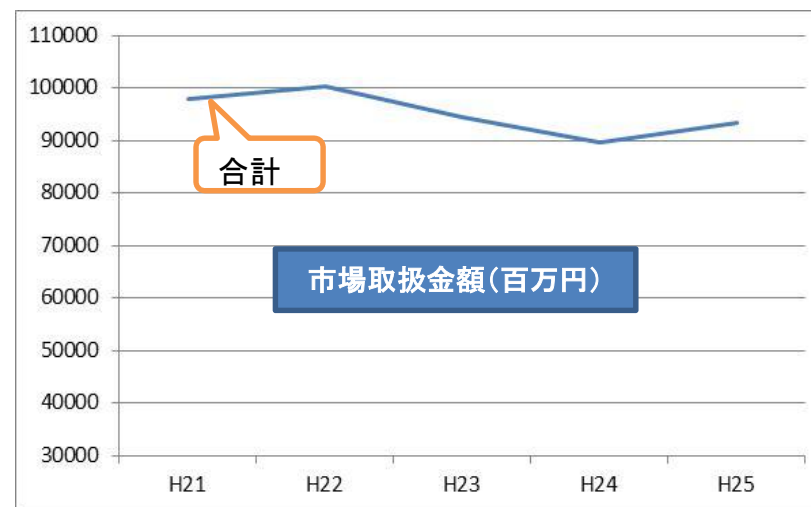
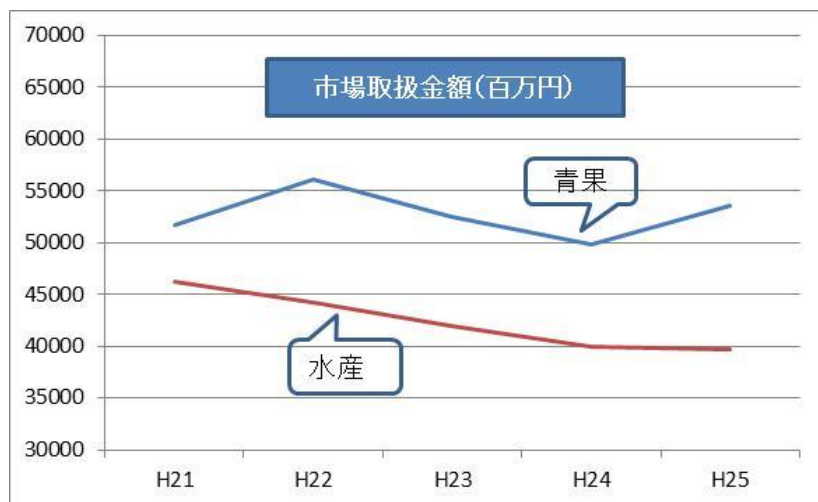
【平成25年度の実績】

	24年度実績	25年度実績	対前年比	目標達成率
青果	226,777 トン	229,382 トン	101 %	97 %
水産物	51,413 トン	50,321 トン	98 %	99 %
合計	278,190 トン	279,703 トン	101 %	98 %



<参考>

取扱金額の状況



【取扱金額の実績】

(単位:百万円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	対前年比
青果	51,700	56,083	52,465	49,821	53,619	108 %
水産物	46,266	44,245	41,938	39,973	39,767	99 %
合計	97,966	100,328	94,403	89,794	93,386	104 %

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗状況

項目③ 施設整備の実施状況

●対象期間中に施設整備を行うもの

	施設整備の名称	評価	実施状況
1	特別高圧受変電設備改修工事	○	平成24年度終了。
2	電気室高圧受変電設備改修工事	△	平成24年度から工事開始(平成28年度まで)。
3	低圧幹線(バスダクト)設備改修工事	×	平成27年度、平成28年度に実施予定。
4	昇降機設備改修工事(10基分)	○	平成24年度終了。
5	昇降機設備改修工事(8基分)	△	平成25年度から工事開始(平成28年度まで)。
6	冷蔵庫棟耐震改修工事	○	平成24年度終了。
7	管理棟耐震改修工事	△	平成25年度に実施設計。平成26年度から工事開始(平成27年度まで)。
8	水産棟耐震改修工事	△	平成25年度に実施設計。平成26年度から工事開始(平成27年度まで)。
9	非常用発電設備改修工事	△	平成24年度に基本設計。平成25年度に実施設計。平成26年度に工事。

○は終了 △は実施中 ×は未実施

●指定管理者において施設整備を行ったもの【工事費 300万円以上(H24)、500万円以上(H25)】

施設整備の名称		実施年度	施設整備の名称		実施年度
1	青果・水産仲卸棟トイレ改修工事	H24	1	青果仲卸棟各ブロック東側トイレ修繕工事	H25
2	管理棟ネオンサイン改修工事		2	青果・水産卸棟3階事務所前通路床修繕工事	
3	冷蔵庫棟・高架下棟冷凍機分解整備工事		3	水産卸棟4階事務所前通路全面修繕工事	
4	水産事務所回り駐車場止め修繕工事		4	青果・水産卸棟3階廊下修繕工事	
5	有料駐車場所所有者ネームプレート修繕工事		5	管理棟・青果棟2階連絡通路修繕工事	
6	青果ごみ置き場防犯カメラ配線修繕工事		6	青果・水産大通り照明装置照度アップ(LED)	
		7	青果買荷保管所前ほか側溝改修工事		
		8	正門・西門・北門サイン搭(LED)整備工事		
		9	青果・水産2階回廊床・手摺修繕工事		

●今後新たに整備を検討するもの

- ・簡易低温流通施設整備(大屋根、テントなどによるもの)
- ・冷蔵庫棟機能改善(階ごとに設定を変えられるようにするもの)
- ・仲卸棟電気容量(支線)の増設
- ・給排水設備改修
- ・直流電源設備改修
- ・水産仲卸棟東系統冷却水設備改修
- ・高架下冷蔵庫冷蔵設備改修
- ・非常用放送設備改修
- ・セリ場舗装改修
- ・卸棟3・4階トイレの改修

大阪府中央卸売市場 経営展望の進捗状況

項目④ 収支計画の達成状況

(単位:百万円、税込)

【市場会計の収支計画】 (開設者会計と指定管理者会計の合算、納付金は計上せず)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
市場事業収益	1,835	1,836	1,834	1,839	1,843
営業収益	1,673	1,674	1,676	1,677	1,679
売上高割利用料金	239	241	242	244	245
施設利用料金	1,057	1,057	1,057	1,057	1,057
雑収益	377	377	377	377	377
営業外収益	162	162	158	162	164
市場事業費用	2,036	2,076	2,028	2,059	1,957
営業費用	1,989	2,025	1,975	1,998	1,892
市場管理費	1,578	1,551	1,499	1,499	1,499
減価償却費等	411	474	477	499	393
営業外費用	46	50	52	60	65
予備費	1	1	1	1	1

【実績】

24年度決算	計画との比較	25年度決算	計画との比較	主な増減要因
1,800	▲ 35	1,852	+16	
1,650	▲ 23	1,694	+20	
221	▲ 18	232	▲ 9	取扱金額の減少
1,039	▲ 18	1,032	▲ 25	施設利用面積の減少
390	13	430	+53	光熱水費単価の増加
150	▲ 12	158	▲ 4	他会計補助金(一般会計からの繰入金)の減少
1,868	▲ 168	2,075	▲ 1	
1,800	▲ 189	2,005	▲ 20	
1,386	▲ 192	1,558	+7	修繕費、活性化対策費の増加
414	3	447	▲ 27	大規模改修の進捗に伴う減価償却費等の減少
68	22	70	+20	廃業者の滞納に係る不納欠損処理等による増加
0	▲ 1	0	▲ 1	

単年度損益	▲ 237	▲ 256	▲ 240	▲ 250	▲ 133
運転資金	174	218	237	249	260

	▲ 93	144	▲ 231	+25
	321	147	216	▲ 2

【指定管理者の修繕費・活性化対策費】

(単位:百万円、税込)

	25年度当初計画	25年度決算	備 考
修繕費	53	124(234%)	当初計画の2倍強の修繕費を執行。施設の維持・補修に大きく貢献
活性化対策費	61	112(184%)	当初計画の約2倍を執行。うち35百万円を市場に寄付。市場の活性化に大きく貢献

市場事業資本的収入	326	162	477	268	147
企業債	305	140	455	245	123
出資金	21	22	22	23	24
市場事業資本的支出	800	387	966	628	374
建設改良費	757	343	922	583	327
企業債償還金	43	44	45	46	47

	251	▲ 75	102	▲ 60
	230	▲ 75	75	▲ 65
	21	0	27	+5
	575	▲ 225	213	▲ 174
	532	▲ 225	158	▲ 185
	43	0	55	+11